

スタートアップ物語
—次代を創る主役たち

「空飛ぶクルマ」が 世界を変える

株式会社SkyDrive 代表取締役CEO 福澤知浩

「空飛ぶクルマ」1/6サイズの模型を手にする福澤知浩CEO。新宿区にある東京オフィスにて

クルマで空を飛び回り、あっという間に目的地に——。SF映画では馴染み深いシーンだが、その「夢のモビリティ」が現実のものになりそうだ。二〇二三年度の実用化を目指し、開発を進めるスタートアップ「SkyDrive」。陣頭指揮を執る福澤知浩CEOが描く未来のモビリティ社会を聞いた。

取材・文／稲泉連 撮影／富本真之

「ようやくここまで来たか……」

二〇二〇（令和2）年一月四日——。

東京ビッグサイトの展示場で、「空飛ぶクルマ」をテーマにした国内初の技術展示会「フライングカーテクノロジー」が開催された。会場ではさまざまな企業や団体が製品や技術を出展していたが、そのなかでとりわけ多くの人を集める一角があった。福澤知浩さん率いる「SkyDrive」社のブースだ。

来場者が注目していたのは、同社の開発している試作機「SD-03」。電動での垂直離発着が可能な「eVTOL」で、白と濃い青のカラーリングにLEDのヘッドライトが映える。八つのプロペラを備えた一人乗りの機体だ。現在のバッテリーでの飛行時間